

南九州

— MINAMIKYUSHU CITY —

議会だより

目次

- ・ 12月補正予算…………… P 2 ～ 3
- ・ 人事案件ほか…………… P 4
- ・ 条例、陳情…………… P 5
- ・ 名誉市民、全員協議会… P 6
- ・ 議員定数…………… P 7
- ・ 一般質問…………… P 8 ～ 15
- ・ 活かせ提言…………… P 16 ～ 17
- ・ 市民の声…………… P 18

第 29 号

平成27年2月5日発行

もちつき大会
(潁娃保育園)

平和会館管理費

一般会計 補正額7,169万2千円 予算総額

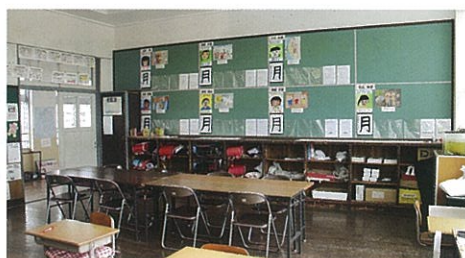
小学校教育振興事業費
1790万9千円
平成27年から30年度に使用する小学校教科用図書の新訂に伴い、教師用教科書・指導書の整備に要する経費を補正します。

〔審査の中で〕
問 選定委員会は、准看護学校跡について、教育の場としての活用を前提とした選定を行う予定か。
答 准看護学校として民間移管するため、12月1日から応募を開始した。応募があった場合は、プレゼンテーションを行い、9名の委員で審査していく。

准看護学校管理費（一般経費）
70万7千円
顕娃准看護学校民間移管に伴う移管先選定委員会委員の報償費及び学校敷地面積確定のための測量・土地地籍更新業務に係る委託料を補正します。



プールろ過機（顕娃小）



改修される教室（九玉小）

小学校施設管理費
1044万2千円
平成27年度学級編成で九玉小、中福良小、高田小で各1学級の複式学級編成が見込まれるため、複式学習対応の改修及び顕娃小プールの過機の更新に要する経費を増額します。



緑ヶ丘団地

住宅管理費
266万1千円
市営住宅の修繕料不足分や自治会放送施設個別受信器設置に伴う負担金などを増額します。

〔審査の中で〕
問 委託料に不足が生じた理由は。
答 6月の梅雨前線豪雨時に災害復旧補修分に委託料を多く費やしたため、通常の保守業務委託料が不足した。

土木費
213万
市道維持補修業務の委託料に不足が生じたため増額します。

高額医療合算介護サービス費
848万
支給申請助金の助行等に伴い、高額医療合算介護サービス費に不足が見込まれるため増額します。

高額介護サービス費
945万
支給申請助金の助行等に伴い、高額介護サービス費に不足が見込まれるため増額します。

認定審査会事務負担金
903万5千円
南薩介護保険事務組合の補正に伴い、市負担金を減額します。

介護保険事業
認定審査会事務負担金
▲903万5千円
平成25年度事業実績に基づく超過交付分の国庫支出金等を返還するための経費を増額します。

国民健康保険事業
国庫支出金返還金
7315万9千円
平成25年度事業実績に基づく超過交付分の国庫支出金等を返還するための経費を増額します。

特別会計の主な補正

簡易水道事業

一般経費
411万2千円
水道施設の維持管理に要する経費に不足が見込まれるため増額します。

建設改良費

▲975万7千円
工事請負費の非常用発電機設置工事及びポンプ取替工事等の執行残を減額します。

公共下水道事業

管渠及び排水設備維持管理費
135万
授産施設新築に伴い、汚水管渠の拡張工事等の経費を増額します。

など補正

217億7,419万1千円

12月定例会

総務費

一般会計の主な補正

平和会館管理費（一般経費）
605万3千円
光熱水費の不足分や戦国機「飛燕」を日本航空協会に返却することに伴い、「準」展示室の改修設計委託料を補正します。



返却される「飛燕」

総務人事関係費
184万4千円
ノーベル物理学賞を受賞した南九州市出身の赤

商工費

商工総務費（一般経費）
289万9千円
商店街活性化対策事業補助金に街路灯のLED化を川辺地域の開運夢通り商店街に100基、顕娃地域の石垣商店街に59基の申請が見込まれること等から増額補正します。

〔審査の中で〕
問 街路灯の価格は。
答 形状が異なり、川辺開運夢通りは1基当たり6万4800円、顕娃石垣商店街は1基当たり1万7280円で計画している。

衛生費

不被害虫対策費

1748万
ヤンバルトサカヤスデの異常発生により、家屋侵入防止剤の支給申請件数の増大及び緊急駆除地域が拡大したことに伴い、薬剤購入費と駆除委託料を増額します。

〔審査の中で〕

問 薬剤の購入数量と保管は。
答 ノックダウンダスター、コイレット、ヤステガード粉剤の3薬品合計で3万3557kg購入する。市の購入分については各支所に設置してある薬剤保管庫に30箱程度保管し、市民への補助分についてはJIAが独自に保管している。

特定不妊治療費助成事業費
100万
助成金に不足が見込まれるため、増額補正します。

農林水産業費

活動火山周辺地域防災営農対策事業費（茶業）
5122万1千円
4団体に摘採機能付降灰除去機9台が追加採択となったことから、補助金を増額補正します。

鳥獣被害対策実践事業費（国庫）
▲303万2千円
計画していた防護フェンスを電気柵に変更したこと、市内3カ所で設置予定の電気柵を廃止したため、補助金を減額補正します。



摘採機能付降灰除去機

教育費

伝統的建造物群保存対策事業費
475万3千円
武家屋敷内にある旧高城家主屋修理に係る工事請負費を増額し、設計監理委託料を減額します。



旧高城家

◆教育委員会委員◆

福留 直人 氏

頼娃町 御領



任期

平成27年1月8日から
平成31年1月7日まで

◆議会構成の変更◆

2名の議員辞職により
委員会等の構成が変わりました。

総務常任委員会

(委員数 7人)

委員長 伊瀬知 正人

副委員長 西 次雄

産業建設常任委員会

(委員数 6人)

委員長 吉永 賢三

副委員長 内園 知恵子

議会運営委員会

副委員長 伊瀬知 正人

委員 西 次雄

委員 内園 知恵子

指宿南九州消防組合議会
議員 西 次雄

指定管理者決まる えい中央温泉センター



- ・指定管理者となる団体の名称
住 所 熊本県菊池郡大津町大字室686番地1
団体名 株式会社 グッドスタッフ
代表者 代表取締役 日野 源男
- ・指定管理期間
平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間

◆議案第66号

土地改良事業の計画変更について (可決)

平成22年度に事業着手した団体営農地保全整備事業(シラス対策)大田尾地区において、土地利用状況や営農状況等の変化により事業計画を変更し、事業完了年度を26年度から28年度に変更します。

計画面積	17・6 ha
受益戸数	82戸
排水路整備	4320 m
農道舗装	1240 m

〔審査の中で〕

当初計画より受益面積が減少しているが、事業費が増加した要因は、答 受益面積の減少は当初計画より農用地としての機能が見込めなくなった箇所が発生した。事業費増は流路工下流部分に流速を落とすため断面拡大やブロックの設置を行う必要が生じた。

◆議案第67号

土地改良事業の施行について (可決)

平成27年度からの新規土地改良事業として、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用し、老朽化や断面不足から、洪水時に氾濫による被害をもたらしていた頼娃地域郡及び牧之内地区の排水路を整備します。

計画面積	11・7 ha
受益戸数	118戸
排水路整備	2391 m



大田尾地区の整備



現地調査のようす

〔審査の中で〕
問 本地域は昭和40年代に畑地かんがい事業を実施した地域だが、氾濫するようになった理由は、答 当時は露地中心の作付け体制であったが、ハウス栽培の増加やマルチの普及により降雨時の流量が増加し、断面不足となり氾濫するようになった。

条例の制定・改正

頼娃多目的研修センターを無償譲渡 南九州市頼娃多目的研修センター条例を廃止する条例

南九州市頼娃多目的研修センターを麓自治会に移管することに伴い、平成27年4月1日付けで廃止する。

サテライト川辺の協力金を積立て 南九州市地域環境整備事業基金条例の一部を改正する条例

これまでのオートレースに加え、競輪の場外車券販売について熊本市と締結したため、協力金を基金に積み立て適正に管理するよう所要の改正をする。



サテライト川辺

合併処理浄化槽の管理を変更

南九州市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

南九州市知覧みずほ住宅団地合併処理浄化槽を南九州市農業集落排水処理施設として管理する。

市立幼稚園保育料を改正

南九州市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例

平成27年4月1日から保護者の所得に応じた応能負担とするため所要の改正をする。

生活保護世帯	月額	0円
市民税非課税世帯	月額	3,300円
市民税課税世帯	月額	5,000円

タブレット型端末を導入 知覧特攻平和会館条例の一部を改正する条例

知覧特攻平和会館の音声ガイドシステムにタブレット型端末を導入すること等に伴い、タブレット型端末1台につき200円の使用料を設定する。



陳 情 / 不採択

◎消費税10%の増税実施は国に対し延期でなく中止を求める陳情書

提出者：南九州市川辺町 大倉野 由美子

陳 情 / 採 択

◎手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書
提出者：南九州市川辺町 神村 かおり

鹿児島市 一般社団法人鹿児島県聴覚障害者協会
会長 寿福 三男

手話を使う者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきており、障害者基本法では「全ての障害者は可能な限り、言語(手話を含む)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められているため、「手話言語法(仮称)」を制定するよう政府に対し意見書提出を陳情する。

◎意見書 提出者：南九州市議会

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聴覚障害者が手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

提出先 内閣総理大臣

ノーベル賞受賞者赤崎勇氏に 南九州市名誉市民の称号を!!

~~~南九州市が発足してから初めての名誉市民~~~



赤崎勇氏は南九州市知覧のご出身で、高輝度青色発光ダイオード（青色LED）を世界で初めて開発し、実用化の道を開きました。その功績が認められ、2014年ノーベル物理学賞を受賞しました。このことは、本市にとってもたいへん誇りであり、本市の名誉を高め市民に大きな希望と自信を与えました。



**南九州市名誉市民条例**  
第1条 この条例は、社会文化の興隆に功績が顕著であつた者に対し、その功績と栄誉を称え、もつて市民の社会文化興隆に対する意欲の高揚を図ることを目的とする。

第2条 市民又は本市に縁故の深い者で、広く社会文化の興隆に寄与し、市民が郷土の誇りとし、かつ、深く尊敬に値すると認められたものに対しては、この条例の定めるところにより南九州市名誉市民の称号を贈る。



## 全員協議会

◎ひまわりバスの運行計画の変更について（平成26年12月12日）

平成23年度から25年度までの運行実績によると、生活交通バスにおいては、どの地域でも年々減少し、拠点間バスにおいては増加している。

また、頤娃高校・川辺高校の通学バス等の要望もあり、平成27年4月1日から運行計画の変更について当局から説明があった。

### 追加運行

「拠点間バス 頤娃川辺線」  
（往路）青戸 6時45分発

川辺文化会館 7時19分発  
（復路）川辺文化会館 7時30分発

頤娃図書館 8時19分発



ひまわりバス

## 議員定数を22人から20人へ

南九州市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

### ◎委員会での意見

18人  
・想像を超える速さで人口が減少している、今の人口減少の速さでいけば18人では、地域代表という考えからは脱却すべき、人口規模からすると18人ではよい

20人  
・予算規模や審査権、チェック機能を考える、類似団体の状況を見て20人ではよい、行政改革を進めるには、議会自らが模範を示すべきである

22人  
・合併前の旧3町の総議員定数からすると、現在は22人と大幅に減少している、十分に経費は削減されている、委員会の討議の適正な人数を7人と考える、22人が適当である

### 類似市の状況（26年1月末現在）

| 類似市    | 議員定数 | 人口（人）  | 議員1人当人口（人） | 面積（km <sup>2</sup> ） | 議員1人当面積（km <sup>2</sup> ） |
|--------|------|--------|------------|----------------------|---------------------------|
| 南さつま市  | 20   | 37,410 | 1,871      | 283.37               | 14.16                     |
| 指宿市    | 20   | 43,872 | 2,194      | 149.01               | 7.45                      |
| 日置市    | 22   | 50,735 | 2,306      | 253.06               | 11.50                     |
| 曾於市    | 20   | 39,254 | 1,963      | 390.39               | 19.51                     |
| 本市（現在） | 22   | 38,459 | 1,748      | 357.85               | 16.26                     |
| 本市（次回） | 20   |        | 1,923      |                      | 17.89                     |

南九州市議会議員定数等調査特別委員会の決定に基づき、12月定例会において、議員定数を次の一般選挙から20人とするため、南九州市議会議員定数条例の一部を改正する条例が可決されました。

## 議会を 傍聴してみませんか。

次の議会は **2月19日（木）** 開会予定

“手続き簡単”本館2階で住所・氏名を書くだけ



### 3月定例会

- 2月12日 議会運営委員会
- 2月19日 本会議（施政方針、当初予算上程、委員会付託）
- 2月24日 議会運営委員会
- 2月25日 常任委員会（補正予算審査）
- 3月5日 本会議（補正採決、委員会付託、一般質問）
- 3月6日 本会議（一般質問）
- 3月9日 本会議（一般質問）
- 3月10日～16日 常任委員会（当初予算審査）
- 3月20日 本会議（当初予算採決）

**蔵元** 「まち・ひと・しごと創生法」が成立した。創生法は平成27年度から5年間の人口減少対策の取り組み方針「総合戦略」の策定を明記し、都道府県と市町村には各地の実情に応じた地方版総合戦略をつくる努力義務を課す。政府は平成28年3月



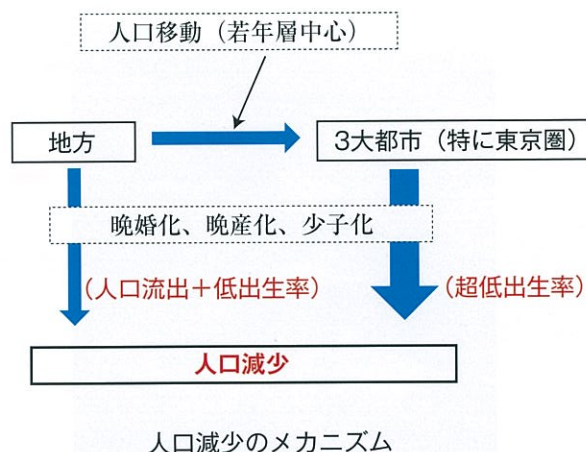
蔵元 慎一 議員

## 地方創生

### 地方創生法への対策は

市長／国、県の計画を勘案し検討する

○大都市への「若者流入」が人口減少に拍車をかけた。



までに各自自治体に地方版総合戦略の作成を求める。今後どのように対応していく考えか。

**市長** この法律は、日本の急速な少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけ、東京への一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくための施策である。

本市でも少子高齢化や若者の流出などにより人口減少に歯止めがかからない状況であり、今後国、県の計画を勘案しながら、まち・ひと・しごと創生総合戦略を検討していきたい。

**蓮子** 平成29年4月より、額娃ごみ処理施設が廃止され、山川地区成川までの搬入となる。

距離が遠くなり地域住民の負担が重くなるが、負担軽減の観点からストックヤード等を整備する考えはないか。

**市長** 額娃ごみ処理施設の廃止を契機に、既存のごみステーションに積極的に搬出され、持ち込みごみの量が減少することを期待する。施設は中継施設、市営ごみステーションが考えられ、地域住民の意向を踏まえ検討する。



ごみステーション

**蓮子** 伝統的建造物群保存地区内に景観にそぐわない建物がみられるが、

市長／必要があれば基準等を見直す

伝統的建造物群の保存対策は

## ごみ処理施設

ストックヤード等を整備する考えは  
市長／地域住民の意向を踏まえ検討する

観光や文化財保護の面から適正管理が求められる。伝統的建造物群保存地区保存条例の内容を見直す考えはないか。

**市長** 条例は国の指導に基づいて制定してある。保存地区保存審議会の意見や協議等をもとに必要があれば現状変更の許可基準を見直し、結果を地区住民に周知して啓発を図り、さらに伝統的建造物群保存地区の景観保全に努めていきたい。

# 市民の声を行政に問う

## 一般質問

14人が登壇

議会会議録はここで見れます

- ◎校区・地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎ホームページ(南九州市)



吉永 賢三 議員

## 商工観光

地域イベント定義や基準等の内容は  
市長／一定の基準を設け見直しを図っている

行委員会とえいゴッソイ祭り実行委員会に対して実施した。

今後、すべての実行委員会事務局、構成団体等にも説明を行っていく。

**吉永** 地域イベント等の定義や補助金額に明確な基準を設けるため説明会を行っているが、状況と基準内容を示せ。

**市長** 合併当初の補助金額、事務局体制を踏襲し、内容や運営形態もほぼ同様に推移してきた。平成27年度から普通交付税が合併算定移行期間となり減額されることから、補助金に關しても一定の基準を設け、事業費の3分の1を上限に交付することを基本方針とする。

説明会については、大まかな流れや概要を話しており、商工会イベント実



かわなべ磨崖仏まつり（玉入れ合戦）

**吉永** 基本指針と基準額の制定にあたり要綱等も作成すると思うが、柔軟な対応が望まれるため、その都度検討見直しをする考えはないか。

**商工観光課長** 各団体からの意見等について協議し、要綱等の内容についても柔軟な対応ができるように検討していきたい。

## 入会林野

### 取り組み状況と 推進方策は

市長／整備組合へ必要な支援を  
行う



竹迫 毅 議員

また、今後市道や農道整備等の公共事業や企業誘致等を考えると、入会林野整備事業で整備可能なものは取り組むべきと思うが、その考えはないか。

**竹迫** 入会林野整備事業の取り組み状況と今後の推進方策を示せ。

**市長** 本市では、旧町より取り組んできたものを含め、額娃町で9組合9554筆、知覧町で9組合1149筆、現在申請準備中が額娃1組合、知覧1組合、川辺9組合あり、整備組合への必要な支援を行っている。

**竹迫** 市民より農道整備に当たり、名義変更が困難で入会林野整備で取り組めないかとの声もあった。市民に対して事業内容の周知をすべきではないか。

**市長** 市民への周知は行う。また、他の市で県より権限委譲を受ける団体もあり、本市でも取り組みたい。

## 入会林野整備 のすすめ



監修 林野庁

## 今後の方向性と方策は

市長／総合計画に掲げてある諸  
施策を推進する

## 農業振興



塗木 弘幸 議員

**塗木** 農畜産物の価格が低迷する中、農業者の高齢化や担い手不足により農業経営は厳しい状況にあるが、今後の農業振興の方向性と方策を示せ。

**市長** 認定農業者の経営改善や集落営農組織の法人化、意欲ある経営体等の支援を行う。農地中間



補助事業で導入されたトラクター

管理機構を活用し、「人・農地プラン」に位置付けられた中心的経営体等に農地の集積・集約化を促進する。各種補助事業導入に対しては、国・県に強く要望し、農業所得の安定向上に努める。

**塗木** 国の政策は大規模農家や農業法人を優先する施策が多いが、家族経営の個人農家への支援を行うことにより、担い手の確保にも繋がるのではないか。

### その他の質問

○ヤンバルトサカヤスデの蔓延防止対策

## グリーンツーリズムの 受入体制の整備は

## 農業体験

市長／関係団体と連携し側面から支援



山下 つきみ 議員

**山下** 受入体制整備のための人材育成や、農家民宿の開業支援などに取り組む考えはないか。

県の事業等を活用したい。農家民宿経営支援のため、ホームページのバナー広告等を活用した情報提供など側面からの支援に努めたい。

**山下** 受け入れ先が引率し、公的有料施設を利用した場合の負担軽減は考えられないか。

**市長** 本事業は、民間の努力により実施され、地域活性化に繋がっていることから、受入家庭の金銭的負担が重くなることは好ましくなく、先進地のいい例を参考にしながら積極的に検討していきたい。



グリーンツーリズムによる稲刈体験

## 愛護作業時の 事故対応は

市長／総合賠償保険等で対応

## 市道管理



加治佐 民生 議員

**加治佐** 市道の道路愛護作業を自治会等で実施しているが、高齢化や人口減少により作業が困難な自治会も見られる。現状及び作業中の事故への対応並びに市が行っている草刈り作業の状況を示せ。

**市長** 道路愛護作業につ



モアによる除草作業

いては、作業困難な自治会が一部見受けられるが、現在のところ、各自治会において愛護作業への理解、協力をいただき道路の環境が保たれている。

また、作業中の人身事故は本年3件発生しているが、全国町村会総合賠償保障保険等で対応していきたいと考えている。

市が行っている草刈り作業の状況は、各支所の道路維持班により1019キロメートルの作業を行っている。

**加治佐** 現在1台所有しているトラクター型草刈機をもう1台導入する考えはないか。

**市長** 検討したい。

また、協議会においても、情報提供や講習会・講演会などを開催し、受入家庭の資質向上に努めている。今後、受入家庭の高齢化などによる減少が予想されるため、JA・商工関係者等との連携も必要だと考えている。

開業支援については、

## ごみ処理施設

### 中間施設設置の考えは

市長／颯娃地域の住民の意向に  
そえるよう検討する



今吉 賢二 議員

する方々の負担軽減のため、何らかの施設の検討は必要である。今後、颯娃地域の住民の意向にそえるよう検討する。

**今吉** 颯娃ごみ処理施設の老朽化に伴い指宿市に新施設が建設されるが、颯娃地域住民にとっては、ごみ処理業者や業者を利用する住民、また直接搬入する住民にとっては費用負担の増加や運搬時間の増などが予想され、地域住民へのごみ処理サービスの低下が危惧される。颯娃地域住民の利便性を考慮し、中間施設（ストックヤード）を設置する考えはないか。  
**市長** 自治会に設置している既存のごみステーションを利用してほしい。しかしながら、直接搬入



颯娃ごみ処理施設

ヤスデの薬剤散布による環境への影響は

市長／影響の無いことが確認されている

**今吉** 薬剤散布による自然環境への影響は無い

**市長** 県による水質検査では、環境生物に対して影響の無いことが確認されている。今後も、水系、農地等を含む自然環境へ影響が及ばないよう適性に薬剤を使用するよう指導していく。

## 脱ゆとり教育の対策は

教育長／土曜授業を実施できる体制づくりを進める

### 学校教育



深町 幸子 議員

**深町** 10月19日付けの南日本新聞によると、鹿児島県教育委員会は、県内すべての公立小中学校での土曜授業実施に向けて関係団体と調整に入っている。  
実施は学校を設置する市町村教委の判断になる

に土曜授業の準備を進めている自治体もあるが、見解を問う。  
**教育長** 豊かな教育環境を提供し、子どもたちの成長を支えることができるよう各学校が土曜授業を実施できる体制づくりを進める。  
**低年金高齢者の福祉対策は**  
**市長** 地域包括ケアシステムの構築に努める

**深町** 低年金高齢者の福祉対策として、空き家を  
利用し、4～5人で共同で生活するグループホーム的なものを創設し補助する考えはないか。  
**市長** 市としては、共同生活の住まいの創設・補助についての取組みは検討していない。地域の絆を強め、高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立し、社会参画しながら、かつ尊厳をもって、安心して暮らしている地域社会の実現に向けた「地域包括ケアシステム」の構築に努める。



授業のようす

## 子育て世代の支援強化の考えは

市長／県内の状況や市民の声を勘案して検討したい

### 人口対策



西 次雄 議員

**西** 本市では、総合プロジェクトで、移住定住促進対策や子育て支援対策の強化を図っているが、人口減少が続いている。そこで、子育て世代の保育料の更なる低減や高校生までの医療費助成、移



ふれあいセンターわくわく川辺

住定住に対する支援強化の考えは。

**市長** 保育料については、国の基準以下に設定している。

出産祝い金は第2子に5万円、第3子に10万円支給しているが、今後県内の状況や市民の声を勘案しながら検討したい。

**指定管理者への対応は**  
**市長** 市／その都度速やかに対処するよう指示

**西** ふれあいセンターわ

くわく川辺は、市民の健康と憩いの場所として利用されているが、電気風呂が故障し修理が進まず、さらに浴室内の照明は数箇所切れたままで、管理上の苦情を聞くが、指定管理者への対応を問う。  
**市長** 11月2日に故障したが、電気風呂は大浴場と一体のため、11月26日の定休日に修理し復旧した。照明等についてはその都度速やかに対処するよう指示している。

## 樹木管理

### 公園や学校の樹木管理は

市長／適切な対処・対応を図っていききたい



亀甲 俊博 議員

**亀甲** 公園や学校等の樹木の現状と、今後の管理方針に対する見解を示せ。

**市長** 都市計画課で41公園の管理を行っている。管理方法は業者委託がほとんどで、樹木等全体の監視を行いながら、樹木剪定、防除、施肥等を実施している。

**教育長** 樹木等は、児童生徒に与える教育的な影響も大きいことから適切な対処、対応を図っていききたい。

**亀甲** 旧颯娃町には、花と緑の美しい町づくり条例があり、保存樹を指定して後世につなぐように



治療中の古木（神楽小学校）

また、川辺小学校のケヤキについては、文化的価値があるとのこと。治療をして天然記念物として指定するよう提言する。

その他の質問  
○川辺仏壇の振興  
○農山漁村グリーンツーリズムの推進  
○監査意見書

## 不快害虫

### 対策委員会設置の 考えは

市長／有効な対策が見出された  
とき検討



東 兼喜 議員

東 今後ますます蔓延が予想されるが、対策委員会の設置の考えはないか。  
市長 有効な対策が見出され、必要と判断された場合に検討したい。

#### 発掘調査について

教育長／調査報告書は来年度に発行の予定



発掘調査中の金山水車跡

東 南薩縦貫道建設で市内数箇所の発掘調査を実施しているが、その状況を示せ。  
教育長 川辺町の高付遺跡、知覧町の鞍曲遺跡、牧野遺跡、金山水車跡、知覧飛行場跡、鍛冶園遺跡でこれまでの調査で旧石器・縄文時代の石器や土器、これに関連した遺構のほか金山水車跡で金製錬の水車坑、建物跡など発掘されている。調査報告書は、県埋蔵文化財センター及び市で来年度発行の予定。

## 観光客を対象に茶の総合施設の整備の考えは

市長／体験型の観光施設は必要と考える



内園 知恵子 議員

内園 本市を訪れる年間80万人の観光客を対象とした茶の総合施設「見る工場」を整備する考えはないか。  
市長 多くの交流人口の中で、体験型の観光施設は必要と考える。既存の施設の活用を含めて、市民団体並びに各関係機関



見学できるJA茶業センター茶工場

と検討協議していく。  
内園 茶業振興の立場から、価格補償の制度を設ける考えはないか。  
茶業課長 難しいが、県や日本茶業中央会等に情報を発信していきたい。  
愛護作業について受任の意向調査を実施する考えは  
市長／意向調査は実施しない  
内園 高齢化の進行により、市道愛護作業を外部委託している自治会がある。市道管理は市が責任を持つべきである。受任

の意向調査を実施する考えはないか。  
市長 調査を行うと受任しない自治会が増えると思われ、市道の維持管理に対する市の負担が増える。維持管理体制や財政状況を考慮すると、受任の意向調査を実施する考えはない。  
内園 高齢化率の高い自治会では「どうにかしてほしい」という声がある。建設部長 できる範囲内で作業をお願いしたい。  
その他の質問  
○頼娃地区の中学校再編

## 厳しい状況に対する 今後の対応策は

市長／農地中間管理機構を活用した農地の集積を図る

### 茶業振興



下窪 一輝 議員

下窪 厳しい状況が続いている茶業に対し、今後の対応策をどのように図っていく考えか。  
市長 高齢者や兼業農家を中心に茶業のリタイヤが散見されることから、農地中間管理機構を活用し農地の集積を図る。また、市内126の茶



高台から見える広大な茶畑

工場運営の効率化と荒茶品質の高位平準化により経営安定に努める。  
下窪 日本一の茶産地としてどのように対処する考えか。

市長 「知覧茶」の統一方針に基づき仕上げ加工施設を活用する。生産者自らが販売活動を展開し、消費者のニーズを的確に捉えた製品作り等を支援していく。  
さらに、国は輸出戦略を掲げる2020年までに輸出規模を150億円

その他の質問  
○自主防災組織

## 追跡

### あの質問・提言は どうなった?!

(平成25年6月議会)

質問者／蓮子 幹夫 議員

防犯灯を頼娃、川辺地域の通学路にも設置する考えはないか。



設置された防犯灯

答弁者／教育長

生徒や保護者からの要望が強く、緊急性の高い箇所から整備を進めていきたい。

その後

※平成26年度設置

(頼娃地域)

頼娃中学校区 7基設置  
別府中学校区 5基設置  
青戸中学校区 6基設置

(川辺地域)

野崎地区 2基設置  
松崎地区 3基設置

## 閉会中の 所管事務調査

# 活かさせ提言

常任委員会が所管する事務について、議会閉会中に調査を行い当局に提言しました。

総務常任委員会・・・指定管理者制度の現状分析と評価について  
文教厚生常任委員会・・・社会体育施設の利用状況と今後のあり方について  
産業建設常任委員会・・・市営・公営住宅の現状と今後の対応策について

## 指定管理者制度の 理解を深め適切な執行を

### ◆総務常任委員会◆

委員会は、指定管理者制度の現状分析と評価について調査しました。

全国的に見られる課題として、指定期間中に受託業者が倒産するケースが発生しており、選定時の事前審査や導入後におけるモニタリングの充実、緊急時の指定管理者への対応等、バックアップ体制の仕組み作りが必要となっている。

本市においては、行政改革大綱集中改革プランに81施設が指定管理者制度の導入又は民間移管などの推進対象施設として掲載されているが、お茶街道ゆとり館、顕娃多目的研修センター、知覧観光案内所、市営駐車場など21施設で現在、指定管理者制度を導入している。指定管理者が指定期間中に経営困難に陥ったこと等により業務が履行で

合議で確認している。モニタリングマニュアルについては部課長会でも周知しているが、指導体制が足りないところは再度徹底していきたいとのことであった。

## 提言

(1) 指定管理者の施設管理運営評価委員会を早急に設置し、評価委員の選定にあたっては、一般市民の参入も検討すること。

針や指定管理者モニタリングマニュアル等が職員に十分に理解されていない部分が見受けられることから、職員の研修会や、勉強会等を実施して制度の理解度を深め、適切な制度の執行に努めること。

(3) 行政改革大綱プランに掲載された施設で、今後の方向性が決定されていないものは、早急に整理、精査しながら施設の廃止や民間移管等を含め、施設そのものの在り方を検証すること。



お茶街道ゆとり館

## 統廃合を視野に適正な 維持管理と整備計画作成を

### ◆文教厚生常任委員会◆

委員会は、社会体育施設の利用状況と今後のあり方について調査しました。

本市の社会体育施設は、昭和47年代以降に整備され、知覧地域に体育館、武道館、B & G 海洋センタープール・艇庫、平和公園、二松台公園、川辺地域に体育館、諏訪運動公園、顕娃地域に運動公園、農業者トレーニングセンター、プール、武道館、弓道場、グリーン広場、テニス場及び御領体育館が整備されている。

地域別利用状況を見ると、25年度は顕娃地域6万4770人、知覧地域7万6214人、川辺地域7万7620人となっている。

社会体育施設の維持補修に要する経費を委託料及び修繕料から見ると、23年度1593万円、24年度1604万円、25年度1748万円と年々増加傾向にある。



諏訪体育館



知覧平和公園陸上競技場

(1) 経年劣化が進行していることと、公式規格に合わない施設も見受けられることから、施設の廃止・更新時期等を考慮しながら、中長期的維持管理計画を作成し、適正な維持管理に努めること。

(2) 人口減少や財政計画を見据え、既存施設の耐用年数や利用状況を基準に、統廃合を視野に入れた整備計画を作成すること。

委員会は、市営・公営住宅の現状と今後の対応策について調査しました。市営・公営住宅の戸数は、顕娃地域258戸、知覧地域313戸、川辺地域119戸と地域により差がある。整備状況は、平成20年度に顕娃地域に1団地10戸、平成22年度から25年度にかけて川辺地域3団地18戸を整備しており、知覧地域では建設されていない。

改善改修については、3点給湯設備の改善や老朽化による雨漏りや外壁の修繕が必要で、年次計画を立て改善改修を行っている状況である。

政策空き家については、顕娃地域65戸、知覧地域1戸、川辺地域16戸を指定しており、現在、空き家となっている住宅が20戸で、順次解体作業

## 地域バランスに 配慮した住宅整備を

### ◆産業建設常任委員会◆

委員会は、市営・公営住宅の現状と今後の対応策について調査しました。

市営・公営住宅の戸数は、顕娃地域258戸、知覧地域313戸、川辺地域119戸と地域により差がある。整備状況は、平成20年度に顕娃地域に1団地10戸、平成22年度から25年度にかけて川辺地域3団地18戸を整備しており、知覧地域では建設されていない。



山田比良住宅

25年度の募集状況は56戸の住宅の応募に対し、延べ108人が申し込みを行い48人が入居しているが、トイレの水洗化など施設整備の遅れが原因で敬遠される住宅も見られる。

ヤンバルトサカヤスデが大量に発生している住宅の上層階の壁などは住民だけの対応が難しく、今後の入居が敬遠される懸念もあるため行政による対応が求められる。

## 提言

(1) 市内全域の民間賃貸住宅を含めた住宅状況を十分調査し、地域バランスに配慮した住宅整備を図ること。

(2) 水洗化や防犯灯の設置など、居住者が快適に過ごせる住環境整備に努めるとともに、バリアフリー化を更に推進し、高齢者等の入居に配慮した整備を進めること。

(3) 政策空き家については、入居者の置かれている立場を配慮した転居策を進め、団地全体の有効活用を進めること。

(4) 住宅整備の推進には多額の事業費を要することから、補助事業の採択に向けた取り組みを強化すること。

# 市

# 民

# の

# 声



川辺町 清水

西迫 幸一

## 住民主役のまちづくり

「ジャア、ジャア、ジャア」川の中は下半身を入れ、消防ホースで勢いよく橋の欄干を洗浄する「ふるさと川辺会」の姿がありました。年の瀬の寒い12月中旬、岩屋公園入口の朱色の橋の水洗い・雑巾掛け、毎年恒例の姿は通りゆく人々の目にはどのように映ったであろうか。

会員相互扶助の精神に基づき、お互いの親睦と川辺町の発展向上に寄与しようと発足して20年足らず。90名からなる有志の皆さんの会費等を原資

として、桜の植栽及び下草払い等の実施、ホタル繁殖事業、EM菌による河川浄化活動、関東、関西、鹿児島市の各ふるさと会との親睦交流会等を通じて、南九州市の現状報告等や地域活動に取り組んでおります。

川辺には他にもたくさん活動している団体もある、もちろん穎娃町、知覧町でも盛んに活動している団体も見たり聞いたりしています。三町の多種多様な団体同士の横の交流でまちづくりが出来ればと思っております。

議会の各常任委員会でも、いろいろな形でまちづくりのテーマが提案され各事業で奔走していることとは思いますが、看板だけのきれいなまちづくりでなく、各団体にも顔を出し、市民と共に汗を流して住民主役のまちづくりを！



知覧町 西元

尾ノ上 聖子

## 子どもを守るための行政の役割と地域づくり

私は知覧町で生まれ、現在二人の子どもと両親と暮らしております。

現代の日本では、いじめや児童虐待、子どもを狙った犯罪が増える中で親あるいは家族だけで子どもを守ることが難しくなってきました。それが原因で、子どもを産み育てる自信がなく少子高齢化がさらに深刻になる可能性もあります。子どもが健全に成長できなくては、国の将来も期待できなくなります。子どもを安全で安心して育てられるようにするために

は、社会全体が関心を持ち解決策を考え、行政は地域社会全体へ働きかける次のような取り組みを行っていただけたらと思います。

まず一つ目は、地域との関わりが希薄化し子どもや家庭が孤立することがないよう地域の人々との日頃からの付き合いを密にし、いつでも相談できる場を与えていただけたらと思います。

二つ目は、行政による地域の見回りやパトロール活動を実施し、子どもを狙った犯罪について情報を共有し、学校や住民、行政と一体となって問題に取り組めるように協力いただけたらと思います。



## 議会だより第28号の訂正とお詫び

11月5日発行の南九州市議会だより第28号12ページ竹迫議員の質問において「4ヘクタール」を「1ヘクタール」と誤って記載しておりました。訂正してお詫びいたします。

## 議員の辞職

峯古 勝範 議員

平成26年11月11日付

田畑 浩一郎 議員

平成26年11月26日付

## 編集後記

12月定例会においてノーベル物理学賞を受賞した赤崎勇名城大学終身教授に、南九州市になって初めてとなる名誉市民の称号を贈ることを全会一致で可決しました。

赤崎勇氏が知覧町霜出でお生まれになって、幼少期を過ごされたことを後で知り、私も霜出に生まれ60年近く経つが記憶にないことから、1930年代のことだと推測されます。

地元有志の方が赤崎氏生誕の地の記念碑を建てられたが、見るたびに身の引き締まる思いがします。議会人として初心に帰り、市民の声を市政に確実に届けたい。

(松久保)

## 広報編集委員会

委員長 西 次雄  
副委員長 吉永 賢三  
委員 塗木 弘幸  
松久保正毅  
蔵元 慎一  
内園知恵子